

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年9月19日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	6-1-1-3
事務事業名 戦傷病者・戦没者事務事業				部等名	生活福祉部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	保健福祉課
	一般	01-030101002	細々目名	係等名	社会福祉係
政策体系	基本目標	6	その他		
	施策	1	その他		
	基本事業名	1	地域福祉の総合的推進		

事業概要 実施内容	戦没者等の遺族に対する弔慰金、戦没者等の妻に対する特別給付金、戦傷病者の妻に対する特別給付金の請求受付 請求受付 県に進達 裁定通知 国庫債券交付				
根拠法令等	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 戦没者等の妻に対する特別給付金支給法、戦傷病者等の妻に対する特別給付金支給法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (17 年度 ~ 19 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	52,200 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	52,200 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		戦没者等の遺族	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		戦没者等の遺族に対して10年償還の国債を交付する	
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		国として戦没者等の遺族に対して弔意を表す	
		活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標	指標 (1) 名称 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金請求書受付件数 式
			指標 (2) 式
		成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標	指標 (1) 名称 国庫債券の交付を受けた遺族数 式
			指標 (2) 式
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか			
戦没者等の遺族に対して弔意を表し、国として特別の感謝を行うため施策に貢献している。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	19 年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	件			37	0	
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)	人			228	34	
	成果指標 (2)						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			52	
	事業費計 (A)	千円			52		
	職員数	人				0.3	
	人件費	千円				8,373	8,373
人件費計 (B)	千円				2,512	0	
総事業費 (A+B)	千円				2,564	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境 (対象者・法令等・社会情勢) はどう変わりましたか?
戦後60年以上が過ぎ、請求できる遺族が少なくなっている。
この事業に対して、関係者 (市民・議会・事業対象者・利害関係人等) からどんな意見や要望が寄せられていますか?
三親等内の親族からの請求に対する添付書類の簡素化

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
戦没者等の遺族に対して弔意を表し、国として特別の慰謝を行うため整合性がある	国の制度で、市が窓口となり行う必要がある	法律上戦没者等の遺族に対する国の制度であるので妥当である
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
未請求者への個別通知、広報活動により請求件数が増える	国のために殉じた戦没者等の遺族に対する弔意と慰謝を表す場がなくなる	類似事業はない
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
消耗品等が主なので、削減できる余地は少ない	他業務を兼務し、最小人数で行っているため削減の余地はない	受益者負担はない

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 前回請求者等に個別通知等をしたが、未請求者がいた。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 個別通知及び広報等で未請求者の件数を少なくする																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 戦没者の遺族に対する特別弔慰金の場合、前回請求した遺族が死亡し、次に誰が請求できるかが把握できない。遺族会にお願いすることも考えられる																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						